



進学・就職と情報保障について ～生徒へのインタビューと回答～

就職が決定した高等部3年の生徒へのインタビューを行いました。就職に向けての職場見学や実習での情報保障について、ぜひ参考にしてください。

高等部3年中山空美さん 服飾関係



進路を決めた理由は何ですか？

→様々な場所に職場見学や職場実習に行きました。手話を活用できる自分の働きやすい職場などもありましたが、私は服が好きなので好きなことを仕事にしたいと思い決断しました。自分の興味の無いところでなんとなく働くのではなく、自分の好きなことを仕事にすることでやりがいを感じたいと思い服飾関係の会社に就職しました。

職場実習や面接で困ったことはありましたか？

→普段の学校や家でのコミュニケーションは手話を使っているのですが、会社の方とのコミュニケーションが筆談ばかりで大変でした。筆談は自分の伝えたいことをすぐに伝えることができません（文字を書くのに時間がかかるため）。なので伝えたい内容を身振り手振りで伝えようとしたのですが伝わらないことが多かったです。筆談でも自分が伝えたいことを正確に理解してもらうためには、正しい文章で伝えるための文章力が必要だと感じました。

就職後はどのような情報保障がありますか？

→会社から準備していただいたUDトークを活用して、他の社員やお客様とコミュニケーションをとります。相手が話した内容はUDトークで理解できますが、自分からの発信は筆談になるので、スムーズにコミュニケーションがとれるように練習したり、文章力を向上させるために勉強したりしたいと思います。

来年度以降、進学を控える後輩に対してアドバイスはありますか？

→UDトークや筆談を活用するためには文章力（国語力）が必要なので、就職に向けてはもちろんですが就職が決まった後も勉強が必要です。また、自分がどういう仕事をしたいのかなど進路は早く決めて、先生に伝えた方が良いでしょう。今年度はコロナウイルスの影響もありましたが、2学期・3学期は学校行事が多く、実習の打ち合わせや準備などで忙しくなるので、計画的に行動してください。

「聴覚障害のある児童・生徒のオンライン授業を支える工夫」を視聴して

2022年1月末から1週間、オンデマンド配信によって冬の学習会が実施されました。今回は、奈良校が主幹校でした。講演をしていただいた先生は筑波技術大学の白澤麻弓先生です。日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワークでも活躍されています。今回の講演は、今まさにオンライン授業が始まっている私たちの学校にとっては大変有り難い内容で、分かりやすく教えていただきました。ぜひ、参考にしてください。 分責：聴能部 中田晃代

《聴覚障害のある児童・生徒にとってのオンライン授業ではどのようなことで困っているのか》

- ・音質が悪く聞きづらい。 ・表情や口形が見づらい。 ・画面が小さく目が疲れる。
- ・字幕や資料を開くと画面がいっぱいになる。 ・端末を増やすとどれを見ていいのか分からない。
- ・周りの生徒の様子分からない、困っていることに気付いてもらえない。

《これらを解消するために「わかる！」を支えるオンライン授業の工夫が求められている》

- ①情報を統合して見やすく伝える。
- ②オンライン上で文字通訳を活用する。
- ③オンデマンド教材に字幕を挿入する。
- ④授業の進行上の工夫。

①情報を統合して見やすく伝える方法（3つ紹介）

- ・ **モニタを活用する場合**、タブレット画面をモニタ出力し、ノートアプリで書き込みながら説明していく。メリットは、指さししながら説明ができ、スライドに書きこむことができる。デメリットは、画面が反射したり、文字が小さくなったりして、スライドが見づらいことである。
- ・ **zoomのデスクトップ共有する場合**、PowerPointの閲覧表示し「コメントをつける」機能で書き込みができる。メリットは、必要な情報を自由に提示したり、1台の端末で対応できたりすることである。
- ・ **おすすめの使用機器、ソフトウェア**は、①OBS（open Broadcaster Software）PC上の画面を取り込み、合成して配信できるソフトウェア、②アプリ「Goodnote5」、③Cam Link 4k：HDMI出力された映像をパソコンに取り込むことができる機器など。上手く活用することで、情報を分かりやすく伝えることができるが、機器の習得に時間がかかったり、準備に時間がかかったり、複数のソフトを立ち上げるための高性能のPCが必要であったりする。

②オンライン授業におけるパソコン文字通訳

T-TAC Caption（開発元：筑波技術大学 三好茂樹氏）というアプリケーションを使用する。大学ごとに割り当てられたパスワードでログインすることで、簡単に文字通訳が可能である。詳しくは、PEPNet-japan事務局にお問い合わせください。

③オンデマンド教材に字幕を挿入する

「YouTube」「Microsoft Stream」という動画配信サービスを活用し、自動生成された字幕を元に比較的簡単に字幕を入れることができる。オンデマンド授業における字幕挿入は「VREW」といわれるアプリケーションがよく使われている。

④授業進行上の工夫

児童・生徒がどんな環境で授業に参加しているのかを把握する。声の大きさ、画面の見やすさを確認してから授業を開始する。児童・生徒が発言する際のルールを明確にし、参加できる工夫を考える。作業を行わせる際には通常より指示を明確にする。各自の理解度や進捗状況を把握する方法を考えるなどがあげられる。

メール110番について



先月号の音聞こえノートでは、「ネット119緊急通報システム（ウェブ119）」について紹介しました。今回は「メール110番」について紹介します。メール110番とは言語や聴覚に障害がある方でも通報がしやすくなるサービスの1つです。初めて知る方も、すでに知っている方も、困ったときにすぐに通報できるように利用する際のポイントをよくご確認ください。

メール110番の通報から出動の流れ



1. 110@police.pref.nara.jpのアドレス宛に文字メールを作成し、送信してください。
2. 奈良県警察本部通信指令課に着信し、110番が受理されます。
3. 通信指令課が、受理した旨の返信メールを通報者に送信するとともに、警察官の現場急行を指令します。

メール110番の注意事項

《送信メールについて》

・メール110番を利用する際には、①「何があったか」②「どこであったか」③「いつごろあったか」④「犯人はだれか？」⑤「今、どうなっているか」⑥「自分の名前」等を記載する必要があります。

《受理時の返信メールについて》

・メールが通信指令課に着信すると、受理した旨の返信メールが送信されます。通報内容については、さらに尋ねられる場合があります。また、緊急を要する際は、返信メールがない場合もあります。

《その他の注意事項》

・言語・聴覚が、不自由な方やメールでしか連絡の取れない状況にある人の緊急通報用として開設しているので、その他の方は利用は控えましょう。

・迷惑メール対策でフィルター機能を有効にしていたり、パソコンからのメールを着信拒否してたりする場合は受信できないことがあります。そのため、あらかじめ上記メールアドレスやドメイン名を除外設定するか、一時的に迷惑メール設定を解除する必要があります。

・緊急時に備えて、110@police.pref.nara.jpをアドレス帳等にあらかじめ登録しておいてください。また、メール110番の対象は、奈良県内の事件・事故に限ります。メールの送受信料もかかります。

(お問い合わせ) 奈良県警察本部生活安全部通信指令課企画管理係 奈良県警察本部
〒630-8578 奈良県奈良市登大路町80番地
電話: 0742-23-0110(代表) FAX: 0742-24-0874



1990年代に日本で人工内耳が導入されてから、人工内耳を装着している方が増えてきました。人工内耳とはどのようなものか、みなさんご存じですか？今月号は、人工内耳について紹介します。

◆ 人工内耳とは ※

人工内耳は障害がある内耳に代わって音を電気信号に変え、聴神経に伝える医療機器です。音を大きくする補聴器とは異なり、内耳（蝸牛）の損傷を受けた部分に代わって脳に音の信号を送る働きをします。補聴器は主に外耳や中耳に原因がある伝音性難聴に効果があり、内耳が原因で補聴器では効果が少ない高度感音性難聴には人工内耳が有効です。また、人工内耳では補聴器と違って、手術が必要です。

◆ 人工内耳の仕組み

人工内耳は、体外装置（スピーチプロセッサー）と体内に埋め込むインプラントから構成されます。

人工内耳で音を聞くまでの流れとしては、
 ① スピーチプロセッサーのマイクで拾った音をデジタル信号に変換します。
 ② デジタル信号は、送信コイルを介して受信装置に送られます。
 ③ 受信したデジタル信号を電気信号に変換し、内耳（蝸牛）に挿入されている電極に送られます。
 ④ インプラントの電極が蝸牛の聴神経を刺激し、この刺激が脳に送られて、音として認識されます。

◆ 人工内耳のメーカー

日本では、コクレア社、メドエル社、バイオニクス社が厚生労働省から認可を受けています。会社によって、機器の特徴などは異なっています。どの会社を選択しても、聞こえの程度、手術費用、入院期間などは「ほぼ同じ」と考えていい様です。



図 1

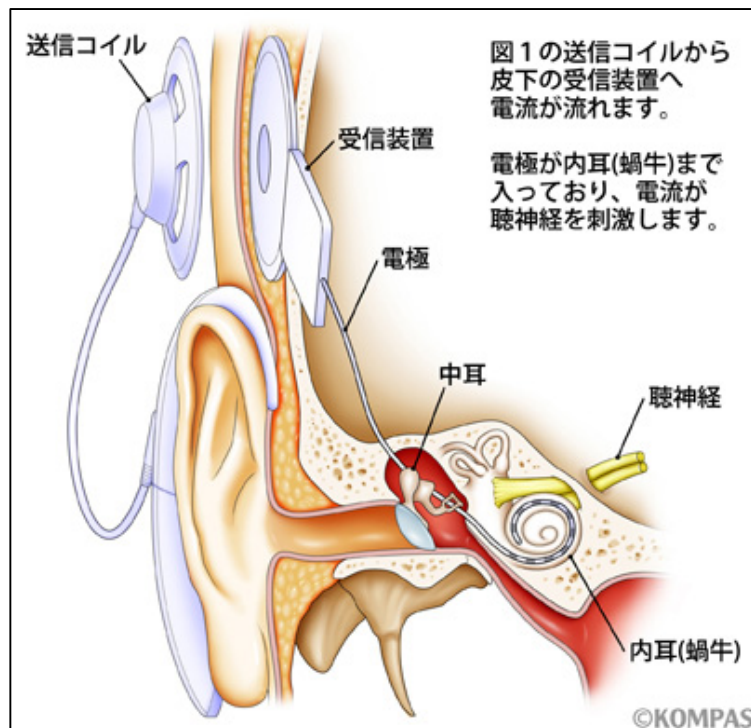


図 2